

# 大江戸倭歌集

中

			和書門
三冊	二架	九〇函	二七三九四號類

庫文閣内			
二〇一函	二七三九四號	和書類	
五架	三冊		

内閣文庫	
番號	和 27394
冊數	3 ( 2 )
函號	201 42



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



大江戸傳歌集卷第三

秋歌

明治十二年購求

之秋

豊前さ心興

新見

けさの秋は 秋のききと先 秋のききと先 秋のききと先 秋のききと先

後原資禮

那須

ゆきみ 秋のききと先 秋のききと先 秋のききと先 秋のききと先

之秋歌

源光世母

秋のききと先 秋のききと先 秋のききと先 秋のききと先 秋のききと先

之秋風

少将慶徳秋歌

周州

一葉まゝか形く 桐の葉り 秋のききと先 秋のききと先 秋のききと先

之秋水

書女

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

初秋

源忠實

松平

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

能富女

西山

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

初秋月

讚岐元世

毛利

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

平志和

國根之秋

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

初秋雨

周防康圭

松平

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

初秋露葉

安民

吉野

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

山家初秋

穂積重嶺

松本

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

お田初秋

隠岐忠行

酒井

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

浦早秋

播磨安清

戸川

あきたらし二夜ニ夜はる一のまにひかりにきりけり玉けり

早涼引

夷賢

さのもうなまの海のおもいなるわすれぬあきかせり吹  
志摩守 征磨

松葉

秋まじりかぐもさきふらさし疾のうそか始

残暑

清彦

夕日巾す恩人の松もたふぼはのこもあつらひのちなるん

信義

伏見

秋も程のこもあつさしたくうたふすあつらひもわかれば

一雨洗残暑

真信

神谷

ひし西の雲ふおら松風よのこもあつらひのちなるん

七夕

千清

富田

初まじりかぐもさきふらさし疾のうそか始りかの系

思敬

田中

み百機とくうたふぼはのこもあつらひもわかれば

七夕

源徳心

神奈原之丞

初機のがれおそりのあつらひのこもあつらひもわかれば

源久成

辰巳其太夫

着の端のこもあつらひのあつらひのこもあつらひもわかれば

七夕

後京宣昭

長谷川半花

たなまじりかぐもさきふらさし疾のうそか始りかの系

七夕女神花

河誰

橋井

あはれふしむとくけいの女神花を曾や母にたてて手元

七夕箱貞

侍従慶熾軒長

藝州

あはれむよ秋もまらえさたるさこのおむとをさあさるの花

七夕寄

大僧都慈彦

秋の葉よりさかきもねのついでにのぼるる

七夕寄

後京順友

日下歌

くはれむよ秋もまらえさたるさこのおむとをさあさるの花

七夕三

玄孝

中村

天ににるあはれむよ秋もまらえさたるさこのおむとをさあさるの花

七夕楊

行子

秋の葉よりさかきもねのついでにのぼるる

七夕私

孝子

速水

秋の葉よりさかきもねのついでにのぼるる

七夕管弦

雪堂

はなをのさよすみよの秋もまらえさたるさこのおむとをさあさるの花

七夕庚申

正樹

赤松

天ににるあはれむよ秋もまらえさたるさこのおむとをさあさるの花

七夕後朔

子世子

あはれむよ秋もまらえさたるさこのおむとをさあさるの花

早夕曝書

方角

日向

夕まきりんおかしな夜まきりぬぬの書は合の

秋

いと女

きのよまきりんおかしな夜まきりぬぬの書は合の

祐命

吹風いそいそつる秋まきの下葉れあを月ととひける

夕秋

實善

御

秋の枝のよもぐいあまもくそ風のそよをぬじつるか

秋夢

源真久

表坂

あまをきり花すり衣はてみれを夢も巾かりにくくはる

雨中秋

常一

大治

あまをきり花すり衣はてみれを夢も巾かりにくくはる

野秋

後永致恭

天野九永

あまをきり花すり衣はてみれを夢も巾かりにくくはる

凄秋

三羽

福村

あまをきり花すり衣はてみれを夢も巾かりにくくはる

秋花映水

院子

あまをきり花すり衣はてみれを夢も巾かりにくくはる

あまをきり花すり衣はてみれを夢も巾かりにくくはる

あまをきり花すり衣はてみれを夢も巾かりにくくはる

あまをきり花すり衣はてみれを夢も巾かりにくくはる

下よりぬきよきるるさしとぬるやうらひぬん秋花書

秋

隈波吉資寧

左田

わすれもきこし一人とあぢか秋の葉よく庭の秋かせ

きん子

酒井

秋の葉の風の言するまをれも神もあのみしぬか秋

秋

春成

左田

いくなち花をこしきぬん今まの秋の葉よか勢

重胤

鈴木

自よ秋葉の秋風をみし秋の葉の言しぬは

月下秋

侍従宗城朝長

あつしからよまわしし秋の葉のむら月の下と

女帝花

孝忠

阪田

ひみしよの秋の葉をみし女帝花をまたくのこたはるあ

源忠敏

松平

しん秋のあつし秋ののちみらし秋のよしぬメ言えなき

西中由守花

祐之

久松

あつし秋のあつし秋ののちみらし秋のよしぬメ言えなき

為

宣風

酒井

年のねの秋の葉をみし秋の葉をみし秋の葉をみし

月下為

壽山

寛

くはくくち種めいらくんえなまの尻花の種月よほのめく

為何神

たの子

荒井

なれもよりき杖しや初尾花神のあまののこさるや

閑庭為

頼則

岩崎

さくしよまひりま宿の糸とくまふめや誰まふらん

赤萱

秀成

鈴木七郎丞

うらやまのしむ杖の鈴同のゆのまらるののりかきや

游清

本間

為下ぬき花のかけれとからやなむひくあれまひりしき

蘭

義氏

中野

ふぶきあまのりて下る。後袴かきかたきまのよらぬら。

葛

由清

あし同よきしむりて入白まのませの首やうらむらあん

鈴負

源久文

春田

色深く美らうらうらあはるるにけむら垣むらうらふけら

後原清風

うすき花のむねかきつひのむよしうけのむらぬ教の花

廣前

内友

秋さしれあまのりて下る。後袴かきかたきまのよらぬら。

鈴場野の杖まはかたきまのよらぬら。



後原歌也

とみる所より夜よりみくはるは尾花の袖は秋の花す

秋の花の袖と

貞恭尼

久世

百葉の花とさなるうらぐら麻の香さそ秋風もかお

群徳秋草

秋車御宿室

あかすそ秋の花群とわらわげの子程のさよはるるさかあ

秋草

清昌

百葉の末さなるうらぐら麻の香さそ秋風もかお

康部

山平

とみる所より夜よりみくはるは尾花の袖は秋の花す

草花歌也

有載

ふくみよ花群とわらわげの子程のさよはるるさかあ

指書

惟時

ふくみよ花群とわらわげの子程のさよはるるさかあ

麻

深信定

大布

ふくみよ花群とわらわげの子程のさよはるるさかあ

志舞

ふくみよ花群とわらわげの子程のさよはるるさかあ

時庸

海

ふくみよ花群とわらわげの子程のさよはるるさかあ

麻輝幽

源信彰

元桐杖五升

風帯麻

松喬

小出

兩中麻

雅世

又麻

良任

遠坂

書影のよその袖まへぬせとや夕への雨よりかたむねの  
ふゆみはくまふきあはるんころもあはれこの様  
田沢泉二

父まへつるも宿のこころはくまふきあはるんころもあはれこの様

你東麻

伊賀守定敬

菅沼

どこのまへく様は影のまなこや人へまはれかまへくまはれ  
本隆尼

月茶麻

不伴

少くもあはれ月まはれくまはれくまはれくまはれくまはれ

猿月吹麻

後原忠韶

天所

あすのえんよしの月まはれくまはれくまはれくまはれくまはれ  
紀正徳朝臣

みくらか木音のらもや海船の麻の音まはれくまはれくまはれ

山麻

菅原好真

糸原若清

つらつらとよきしきもあし麻の輝く秋あるまじのけやま

蓮の

草治

いさよひはゆふのあまのねあま麻のたへきよらけりけり

遠山麻

八十女

秋風れねるふ山吹雪うきよきふらちかきしるよけりけり

やま子

矢田坂

下あふけて遠山の端あふくよのしほき祥よきあそびけり

関河麻

小浪

不夜の園あしりのらも縁人けあみこけりけりあそびの輝

田家麻

周防守麻圭

あまをけいけりあまのふ山吹雪かぬけりけりあそび

李美

寺田

あまをけいけりあまのふ山吹雪かぬけりけりあそび

野亭麻

近江守一陽

佐々木

あまをけいけりあまのふ山吹雪かぬけりけりあそび

麻子守の中よ

戊申

鶴峯

あまをけいけりあまのふ山吹雪かぬけりけりあそび

一也

あまをけいけりあまのふ山吹雪かぬけりけりあそび

虫

周備の正典

きしよとわんじの世の様おがしよかからぬかあそん  
きよち義純

いさぬのまきよ道きたのすなれも淋ききあやうん

重剛

古田

書きよとよあしなう秋のよせの書きよとつらあせし

ゆき生

良政

坂田

路のよのいさめの神楽書きよと様おしよのつらあせし

親民

安後

あつらういさめおあそめおあそめおあそめおあそめおあそめ

出洋法

民部卿長沈

持友

あのみつ秋よとくおあそめおあそめおあそめおあそめおあそめ

籙虫

政貴

坂田

あそめおあそめおあそめおあそめおあそめおあそめおあそめ

安虫

若鬘

いさぬのまきよ道きたのすなれも淋ききあやうん

伊方女

大田

あけしよとよあしなう秋のよせの書きよとつらあせし

月米虫

正典

三井

吹風おあそめおあそめおあそめおあそめおあそめおあそめおあそめ

之殿長富 市橋

山の名れありもたきくまのほの月よなきたりしりのを

野中 内海 範儀

よじ有る敷あはれく並つゆのこまのこえある所へぬまの

源光徳 本村

山かつく霧がかりし秋の神りそめのぬまへしりぬめりさ

前々世 中坊 後ひさ彦四

おとさうしつゆいふまのふかじかゝるのまじりぬめりさ

弘化二年七月七日信長志央亭又普信合

長河 榑系

秋の神み花さしりしゆかきりゆも有はまじりぬめりさ

惟永 歌月

おとさうしつゆいふまのふかじかゝるのまじりぬめりさ

野 南新 丹波の信卷

秋の神り尾花さしりしゆかきりゆも有はまじりぬめりさ

源義章 山岩

おとさうしつゆいふまのふかじかゝるのまじりぬめりさ

野 林女 野中

おとさうしつゆいふまのふかじかゝるのまじりぬめりさ

山平 一御

みづらき...の命を...

時 茶生女

おの...の...の...

長襦 表

そと...の...の...

百舌鳥 花鈴尼 三田

と...の...の...

小夜鳥 正杉

百舌花...の...

歌城

ひきす...の...

源光世...の...

色紙 菅原長信

う...の...の...

書 土佐忠典

吹風の...の...

書 伴建

ま...の...の...

書 寺田

あ...の...の...

山崎

目智

長康

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

春野

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

遠村亭

惟恭

香山

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

浦亭

甲斐孝長元

黒田

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

寺屋茂

傳之綱

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

江流宿亭中

止微

三橋

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

秋夕

源志敏

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

寛光

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

た光子

梅屋七五郎書

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

秋夕

但馬守胤流

遠安

秋の夕暮の山崎の目智の長康の筆

What was the name of the person who wrote this? 義智

What was the name of the person who wrote this? 重信

What was the name of the person who wrote this? 古寺村父

What was the name of the person who wrote this? 行功

What was the name of the person who wrote this? 福永

What was the name of the person who wrote this? 浦秋父

What was the name of the person who wrote this? 真文

What was the name of the person who wrote this? 海河の舟

What was the name of the person who wrote this? 右近

What was the name of the person who wrote this? 同情

What was the name of the person who wrote this? 安雄

What was the name of the person who wrote this? 菅沼

What was the name of the person who wrote this? 豊後

What was the name of the person who wrote this? 幸良

What was the name of the person who wrote this? 大田

What was the name of the person who wrote this? 丹波

What was the name of the person who wrote this? 信譽

What was the name of the person who wrote this? 南秋

What was the name of the person who wrote this? 幸貫

What was the name of the person who wrote this? 箱長

What was the name of the person who wrote this? 室





十六日

執中 照成

林平

かきしる月をいふよきとまはれしわの世のあきよかきとまはれし

九月十三日

光賢

内蔵

けふとまらあきの宮中よみくみ月がうのかきし花から

兩後月

睦子

しんちめれなまうにおうきとまはれしとまはれしとまはれしとまはれし

あし月

あ記

つららばかりもろもにほると月よの同といふあよか那

月照成

侍従 幸貫 納言

かきしる月のいふよきとまはれしわの世のあきよかきとまはれし

松上月

志摩 長福

相良

あきとまらあきの宮中よみくみ月がうのかきし花から

楊長標

神保 八郎

あきとまらあきの宮中よみくみ月がうのかきし花から

松上月

知通

若田

あきとまらあきの宮中よみくみ月がうのかきし花から

兼月

宗寛

あきとまらあきの宮中よみくみ月がうのかきし花から

思月

中将 護朝

あきとまらあきの宮中よみくみ月がうのかきし花から

惜月

右京左衛門尉 田村

あはれいよとておもはす月のからなほちかみはらふも

俊行 山内

とらるる月とてちかみはらふも月のからなほちかみはらふも

有為友 宣鏡 吉村

自とのみはらふも月のからなほちかみはらふも

知雄 中村

あはれいよとておもはす月のからなほちかみはらふも

馬上月 伴直利 伴直利

秋風よとておもはす月のからなほちかみはらふも

雨庭月 源吉順 有田

あはれいよとておもはす月のからなほちかみはらふも

小月 時言 伊庭

あはれいよとておもはす月のからなほちかみはらふも

邦達 梅田

あはれいよとておもはす月のからなほちかみはらふも

源忠頼 坂巻源泰

あはれいよとておもはす月のからなほちかみはらふも

深山月 政備 徳兵衛

あはれいよとておもはす月のからなほちかみはらふも



あはれし 市ひくくくく 花々のまろくからぬ月をたれど

社政月 赤正館長室

秋ひのあはれまどあつて 二悔の山月の光りも神をひらく

秋ひのあはれまどあつて 二悔の山月の光りも神をひらく

秋ひのあはれまどあつて 二悔の山月の光りも神をひらく

秋ひのあはれまどあつて 二悔の山月の光りも神をひらく

秋ひのあはれまどあつて 二悔の山月の光りも神をひらく

秋ひのあはれまどあつて 二悔の山月の光りも神をひらく

秋ひのあはれまどあつて 二悔の山月の光りも神をひらく

秋ひのあはれまどあつて 二悔の山月の光りも神をひらく

楊上月

新網

前田

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

あつまうけのあまう 芳をいへは月のからわされど

後月 清信

紫約のかりよりおにくまのちのわたりみ秋の葉は月

後月 小栗

うはのうの大和回しおけし十のふらふらつうふ杯

後月 小栗

沖遠くみつみつじふね敷みえていふの浅る月みさやけき

後月 小栗

あひすはのあひりかきささいあひあひる

後月 定永納屋

ふねあひささきあひりかきささいあひあひる

巾と子 名君丹波守

巾と子 名君丹波守

義達 岸野

秋風よからのきも巾と子あひささきあひる

後月 阪塚

有るそゆつはまやいづつあひささきあひる

源忠實

およそあひささきあひる

少門順察

およそあひささきあひる

あ巳月

あ百子

志田家室

比ふようつねの月の玉をくくじすひて被のちのちをくく

名取月

哉

千坂

文祥やいなんれあを吹風く回毎のついでりからくく

包弘

行山

あふまあやかまうねんてんてんあふまあやかまうねん

や新

中神

松崎のあふまあやかまうねんてんてんあふまあやかまうねん

従美

れきつあふまあやかまうねんてんてんあふまあやかまうねん

月本

普光

けみのつ。月よもく徳がすかせーやあまきけねんてん

月本

夢子

お本主并助妻

秋のあふまあやかまうねんてんてんあふまあやかまうねん

月本

源和温

成治

たのそらあふまあやかまうねんてんてんあふまあやかまうねん

月本

言子

松平大学政室

月からあふまあやかまうねんてんてんあふまあやかまうねん

月本

依中と泰使

ちのあふまあやかまうねんてんてんあふまあやかまうねん

自來待下 秋生花 増山

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん  
秋自携春花

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん  
同備と心曲

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん  
あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん  
あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん

内通政博 建教

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん  
長敷 豊田

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん  
仲之の家の尚書會に月英子秋とら歌よ

敬原信節 梅本勝在備

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん  
秋あきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん

敬原 榮  
敬原親賢 大林野門

あきあきとていふ人もあはれしうらみのまは有るらん

敬原



あかりしよりの路をにたれし一記のよかり庭のまじり

典 澤田

先よみお同のあましく一れり路をにたれし一記のよかり

秋風 同播さし典

秋風のやじくせんをさあめらちよと中光をかもなるかゝるる

少目若

あまのつ花よあまのいりてんくはせきつらふのよおのよ

山秋風 舞女

とよのあまのいりてんくはせきつらふのよおのよ

野秋風 伎茶も信さ 中山

あまのつ花よあまのいりてんくはせきつらふのよおのよ

中村保十郎

春がすみほそいふ一丁かぬまのまじり今ななくねる

子若 友田

かなすたれおちあふくあめつるまじりよよよまおん

初丁 大炊政忠幹 火野

あつしかりあまのつ花よあまのいりてんくはせきつらふのよ

春樹 今井

みよの市あしあめあまのいりてんくはせきつらふのよ

暁初丁 柳子 堀

あまたの田のり程のほのぼのささやうにわらわらりたり

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

ほのぼのささやうにわらわらりたり 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

てまのついでに 暁に 花 葉の 葉國 武本 武本

見せむらひのあかりしつらさのわらふ

袴衣

後京祐曆

わらひのあかりしつらさのわらふ

後京祐曆

仲田

わらひのあかりしつらさのわらふ

困哉

わらひのあかりしつらさのわらふ

常典

山田

わらひのあかりしつらさのわらふ

暁袴衣

浅藤

妻

浅のわらひのあかりしつらさのわらふ

月並帖

清女

下敷かきしつらさのわらひのあかりしつらさのわらふ

袴衣出

方簡

大洋

下敷かきしつらさのわらひのあかりしつらさのわらふ

近袴衣

共清

山田

下敷かきしつらさのわらひのあかりしつらさのわらふ

里袴衣

忠笑

山

下敷かきしつらさのわらひのあかりしつらさのわらふ

平京恭

堀

あはれおぼやうしるも秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

名取橋水

ゆい日備

あやまきくおぼやうしるも秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

如醉

水野孫九郎

一の光のあまのささけしるも秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

兼

中將慶永秋信

いぢまかもろしるも秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

夏井

若菜

いぢまかもろしるも秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

夏井

市川

うらなりの花はさしほよ本音の林衣月よあへ

待兼

秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

兼

如春

あはれおぼやうしるも秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

秋女

前田

あはれおぼやうしるも秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

兼

春野

あはれおぼやうしるも秋のさしほよ本音の林衣月よあへ

月下兼

利雄

山口

しんせいのちかぢのよもぎらうしんげりけりひらひらひらひらしんせいのちかぢ

源兵衛菊

阿惟

梅井

おどろくかきかたのしんげりけりけりけりけりけりけりけりけりけりけりけり

色菊

源利義

ふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたも

菊映水

少将慶徳頼信

大沢の比らさげむかひもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたも

源西徳

しんせいのちかぢのよもぎらうしんげりけりけりけりけりけりけりけりけりけり

大井川の菊

天津屋あもやうせんあうなれのいさよもきりり花さけり

大井川の菊

豊永の心興

大おのりよしのちかぢのよもぎらうしんげりけりけりけりけりけりけりけりけり

海色菊

國安

渋谷

ふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたも

菊英千秋

法印養信

物野晴川院

未きよもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたもふたも

軍門九日遊菊礼

穂積重嶺

おのりけりよしのちかぢのよもぎらうしんげりけりけりけりけりけりけりけり

英菊

養生女

芥

仙人のまじりて葉のよのえれとちねいりよ花もさじけり

家の菊冷よ河漢に吹よけは遠ちて菊のよ

桂のよへり 源光世

花のよははらばらもももちんあまうせりくおとよのいほ

おたのよめ 後京社部 河津

ついであつてははらばらももちんあまうせりくおとよのいほ

義標

大井のよははらばらももちんあまうせりくおとよのいほ

紅葉 小樽定信朝臣

もよのよははらばらももちんあまうせりくおとよのいほ

侍従貞征朝臣 後継

松のよの本すゑの外にもみちいけいりくちく秋の山も

近江も成 固本

本よりけりももちんあまうせりくおとよのいほ

平知至 高野

名もよのよ本ももちんあまうせりくおとよのいほ

近江も湯 近江も湯

ははらのよははらばらももちんあまうせりくおとよのいほ

長門也隆徳 九鬼

里打のよももちんあまうせりくおとよのいほ

花のよき 権印葉 名所小左門

わのもはうららめくらにきさるのお葉やえつらん

*花のよき* 貞松尾 三村

你山ゆげあきののしほにさたけやゆふ海のもののみら葉

*花のよき* 権英葉 村田

年つくとねとそねるあろよちちそのね葉ならかまかね

*花のよき* 實休 伴後

気もまふらとほららふもみらいらのふかきののみかき

*花のよき* 平貞寛 服部

昔かつかのひらのいらさくにあごもくくらすのト尾

*花のよき* 権横白飯 本原

野のあつきのま枝とくくそねねみん路へののみち葉

*花のよき* 初紅葉 余諾金八郎

らめくすいりくらの後よえす初かやのあつのお葉

*花のよき* 源正業 向井源次郎

深あぬいらいましけはもらもなへくみららわがらちか

*花のよき* 僧悟海

しれきて錦おのちすのみら葉と雲のたふしのしほけりけり

*花のよき* 侍依志能勢

夕日さび葉ののみら葉いらとえ錦のみはあつしのおま

源近長 朝日

いふふと横よるひのまをねくお茶おとくあまふちあまひ

両中お茶

深沢

あまはよくもまじりみち茶とねいろそくく時あふ

お茶増兩

施惠

上願

秋ふし〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

春孝

十田五之册

あまあねれくいらふもみち茶とあまのたもふらひんか

松字お茶

釣糸

建教

糸〜〜〜〜〜とあふれ糸とまねの本け百の糸のみち茶

山お茶

近江道義

本庄

あまひ〜〜〜〜〜とあふれ糸とまねの本け百の糸のみち茶

鹽解

岡田

はあ〜〜〜〜〜とあふれ糸とまねの本け百の糸のみち茶

山お茶

方啓

頂巻

この大なる〜〜〜〜〜とあふれ糸とまねの本け百の糸のみち茶

山お茶

平定恒

平野子茶

秋とあふれ〜〜〜〜〜とあふれ糸とまねの本け百の糸のみち茶

山お茶

通明

山野

あま〜〜〜〜〜とあふれ糸とまねの本け百の糸のみち茶



園抄紅葉

中將法裕抄

をばやわらのお葉をさしきりてあしはらにさしよせよの枝むら

社政紅葉

元英

林

たふよけりてあしはらにさしよせよの枝むら

六寺紅葉

平胤親

高麗

初瀬のふちかやく入合はるごとくれや滞つてらん

お葉浮水

浪音

大のり岩とすあはれとをわらあしはらにさしよせよ

お葉浮水

上徳女忠康

あしはらにさしよせよの枝むらにさしよせよ

目智

一葉のうらみおもむき葉の影をわらさす谷川のむら

紅葉随風

法眼惟隆

大田元礼

さしよせよの枝むらにさしよせよの枝むら

深見年

指垣政之正

あしはらにさしよせよの枝むらにさしよせよ

お葉易散

侍俊忠真抄

お葉にさしよせよの枝むらにさしよせよ

有載

あしはらにさしよせよの枝むらにさしよせよ

前お葉は人

水好

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

信法お勝成 川尻

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

信法お勝成 川尻

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

かたわらにほなるの葉国のまゝよよびは秋の葉はあはれ

秋好 常典

秋雨

中村護船長

とがくしはあまのこゝろをなほす秋のしづかに葉ももあはれし雨

深真

高橋

秋風の指もさくもたえておののきとにのるし雨

お侍慶親船長

しんせめもあまのこゝろをなほす秋のしづかに葉ももあはれし雨

秋夕雨

高久

水谷

かみのきもいひし秋の夕雨はあはれし雨のせと葉

秋花

嘯山

小笠原

あぐさの鬼入の小萩もよりのわたり秋の夕雨はあはれし雨

伊豆守利房

あつたのそよよとくはりし月や秋の朝、夕の花

秋生

深篤

みのじりめらよとあもあはれし秋かせとくはららるる

秋寺

船長

花りしきききのあもあはれしお祭もよりの夕風をゆく

秋回家

利安

秋友十之助

秋の夕ぐほしにいなとかりかすはせめぬ多し夕日にけり

旅哉

竹園へあはれし秋の夕雨はあはれし雨のせと葉

秋祝歌

道直

永嶋市助

山重れ日かろも守きくはこれよ秋かせさひし秋一いのおゆ

秋真

敏成

秋葉とき枝のやうしじれぬうとつとく人のくろく出よけり

源久貫

高嶋

ひぐれをいし秋の暮ももくしお葉のよもきがたおしと見え

秋賦句

清信

羽身

吹わたる秋をせんくしじりーのやねひく尾花よつとけのね

秋の東海の雲のまじりよと作さ感乞

葉さう愛をじすひし海の青も秋のねさめの種とこそねれ

秋の末玉らりて

藤菴

衣の青も作えりあきかせうまをきあしちる玉川の巾着

山秋秋と

後文後下長保

うつら月日の愛う津の山あきこれかうつこのほをみち

言秋

慶徳朝長室

あすのうら来とあやうんり秋のかみは清き袖のうつし

純河

津田

くれしあきく日なむあさなみは月のかなよふるか那

言秋丁

近江も重敬

一柳

あきかたあふけくもとれかしのついであやあおとる流

大正書林

侍従忠能歌片

とるるも秋のひかりのよきもつらなるもあらむとれはく

源氏片 一尾

かきくつの子をのむにむしきむれむれ秋はれはらかた

九月

豊後と忠業

戸塚

とれけいいつとむぬれはれや秋のうらもあはれとるは

古文

長田

よもすくははふもあつむれとれは形して秋はくはけり

大正書林集巻第に

冬

初冬

侍従宗城歌片

はあきとよそにおくつ吹く平けいのありしははは

照海

菅沼

はいとあまにささくもまけはきのあけあもはらりて

政甫

寺田

あつれ秋のよむけはもみらんとあつらせは山かせやあく

初冬風

同横山曲

わづらのの吹くよあつらまはらりてははははは

初冬歌

常子

田次

小夜中よ秋やいよーこのぬめりけの風よまよにけり

照ら

なまぬもつとういよす夜いつのあきさきーこれあき

初冬時雨

たか清仇巻化

秋よみー子様のあきとあきもー身てもふ涼ひーこれか柳

有為

あきももふらうらいく秋くれぬりのいれいゆとせしん

後永政友

遠山福太郎

らうれらわ葉と下をたせよやくーこれの雲にらふかな

山家初冬

祐之

あこれや木は葉まいて山住のなれいもいぬきまにけり

海辺初冬

所牧

な海苔のひーきさらま下らうをあよりくを年々のうら

そのくめ名神山より 武保

着地

なみれいこれいそれー雲れしーかぶかついきのいね

雨を告

子秋

太田

ひりこれお葉ときよせふさしは梅さひーはあきあはけら

十月文衣

太道

十月月のみの衣といとみかへ老きやーあ身をそやすられ

初雨

侍従忠真卿

昔の女と後、刺湯の松をうのこしてさうしりてこれか那

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

平正清 神田

なうかこりや紫さの神女月本未あうまにこれ少娘

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

参なうりあ少娘めしりこれ初雨のあひみされ初つ

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

恒平

なうかこりや紫さの神女月本未あうまにこれ少娘

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

あうかこりや紫さの神女月本未あうまにこれ少娘

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

あうかこりや紫さの神女月本未あうまにこれ少娘

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

あうかこりや紫さの神女月本未あうまにこれ少娘

はくものこをてつよもつてつあうすといもくちらく部

あうかこりや紫さの神女月本未あうまにこれ少娘

辰付西

源直致

備口

ほのしと家よつとまき雲のちうて付角とらふけるか那

辰付西

清風

うちとがしとまき雲のちうて付角とらふけるか那

林田

みきぬと家よつとまき雲のちうて付角とらふけるか那

夕付西

源赫

福知元太郎

くさしと家よつとまき雲のちうて付角とらふけるか那

源勝成

はまくれと家よつとまき雲のちうて付角とらふけるか那

辰付西

有藤

佐藤

あられと家よつとまき雲のちうて付角とらふけるか那

清昌

袖かきよーのひとまき雲のちうて付角とらふけるか那

月並付西

供徳

狐ちと家よつとまき雲のちうて付角とらふけるか那

麻貫付西

常盤子

ちとまき雲のちうて付角とらふけるか那

時雨

智匡

鈴木

ちとまき雲のちうて付角とらふけるか那



遠河兩

源隆方

有田

子孫のふらの雲をかつたぬはるの面をそとくろく

忠道

鈴木

筑波の志をくわたりてささくれに隅田のつよまよふ浮雲

山河兩

戊申

髪よくれぬきこくれてき田山よきおろす神安月の礼

国河兩

保佐

甲

神安月ともを清くも次風よきくろくもとののさくま

水河兩

蓮河法師

池ありのまはるとなる神安月くも雲のうつるなまはり

山河兩

つや子

よしの花のかみとくもあもきくわゆるもさくまはり

海上河兩

國寺

紫

和国のくはくもくはくもくはくもくはくもくはくもくはくも

宋長河兩

後女

細

あめれよあめれよあめれよあめれよあめれよあめれよあめれよ

田家河兩

従之

小田のまの魔れよひかきよふ時雨をききせりけり

里河兩

理照尼

津田

志のいかにふとえらるるしききききききききききききききき

名取町

祐城

の洋

仔細山みねより月のかげにきりきりしるるもあきりの中と

は 徳

丸山

じろとのねよかりりららら〜してわさせしれもほ

新磨

雲のほら端をきり夕日とよよとみちりらら〜しるるくれば

おろしはあまのあはれにぬみ子

むいぬらららら〜しるる神のこれもからまか

法平孝文

ちりまよよの本れ葉よそえられて〜およびあ〜か

安倍信孝

妻が藤子郎

ふきよせてあまの道わらうじん風の落葉もあはれ朽葉も

文雄

ちりきてかわくお葉れはいろ〜かき〜る端をけり

暁落葉

花章

大塚

み〜あはれさむる枕〜のこりけり本れ葉恋うつあつきの群

夕落葉

源忠弘

水野

神は月夕へのそら風きてちりや本の葉れ言ぞ下ひ〜き

夜落葉

菅雲尼

伊達家後室

音の響れ〜くれば〜おの戸よあかりらるる風のもみらる

恋葉

徒登か成通

月からの花もよもよもよと書つれてふく木の葉に

落葉脆

但馬才親貴

松平

秋の風も青せぬ木末より力多き母らと

落葉不待風

いと女

深くす後あじのさよふもすすお葉のらるあはれ

落葉有輝

貞雅

佐野

秋夕よも木末よりつむも落葉に

風末落葉

昔女

おのつゝ流もあはれをてし

水辺落葉

盛厚

章名

おのつゝ流もあはれをてし

水辺落葉

春村

おのつゝ流もあはれをてし

水辺落葉

邦女

おのつゝ流もあはれをてし

水辺落葉

邦女

おのつゝ流もあはれをてし

水辺落葉

邦女

おのつゝ流もあはれをてし

あまの葉 正房 中村

うらみ神草のうとみれいふ川のありうれるお葉しげり  
丹波も志尊

ふもつ風のまじりお葉一ふりおまじりいりかまふへ  
川茂葉 長英

本うしん笑ひみてもらまのこよとせのまここのし流る  
豊徳 舟後

お葉みあまらうかつ川おまおますかまのまきお  
度誓

ふもとあまの葉のあしはる大の川おせきのあまの葉しげり  
楊茂葉 安倍信樹 安部木次郎

むすこげのいらまをすお葉のちうてつむれる姐のからえし  
李美 寺田

さほむらひのねおうしほひきて本の葉ぶしくせこの古楊  
山茂葉 穂

深あぬいらとみまも秋くたてはうそ入る佐保の山をせ  
按津も正敷

さまひひく一見うまの言たて山の木お葉のふよこされ  
山家茂葉 源包弘 野山

あうれの山さくく戸の夕あし花まもろくお本の葉かな

谷葉

鶴成

吉岡

谷川とおのれとせきつてもみち葉のひととせよなれさけり

あな葉

徳丸

伊波

ふはさう成り一宿ときてみれは成らもにふは木の葉はれ

十月半紙法より 南園

みぬ人よいかかえんもみち葉の中かりあはれさのしとれ

残葉

伝法寺勝成

川尻

春あけ一づくにぬれて極きく葉のしとせよさのさけり

知哉

駒沢

らさみれをあらけありしよつとれく木の葉文よ自か葉か

庭葉

百枝

梅葉

百葉の葉またわ先の庭の西よきこととてふとけきのけき

院葉

那祖

信史

けきのさ葉の春よ自かういやく人先もなれんとすん

残葉微表

康哉

葉よりつら葉の一とつら葉のさかすもまらば里けり

幹文

久米

きの花いさるもよかさねてつらひさのさけり

葉埋葉

典

津田

おちつる木葉のさよらもれしも葉のくれなき白葉の花

てめえを徳場らうける時らうのちよあまひ

つれづれ

源弘賢

屋代太郎

清きまきつじきくの森れりも又のちよあまひらうか

素

游清

ほよいぬつに田のいつらもたきうおれ花は記らう

懿春

柳田

風さえてお深くつもの群まがり田の西も素おくも

秋素

右衣右支宗歌

田村

あまなぐつに田よむい萱らうししれと素おんか那

夕素

後系志李

戸田

夕のほのさうのち福もあれとて不のくらも素のくつ花

月素

幸室

長瀬

及ゆの月かりらうの西も素えらふぬと素おいらお

冬素

俊行

山内

みあきのいられ子種よ引くう素の花はゆりけり

松と素

初女

あ新

冬素の松もよまいとをぬれまかしの素おらうみゆ読

群外素

僧吉常

あまねらる所の月おかりきてう素素きしきう素

旅素

祐命

伊波

旅衣さらしのあはれむしつ又あわらむよのかけさら

野後

禮行

丹

いと浅茅いろつくあいのあはれむし花ふむしつ

巻草

右近衛監志寛

大久保

あふかけあはれむし松もねよしむしあはれむし

孝忠

坂田

松子のあはれむしあはれむしあはれむしあはれむし

清年

神田

あはれむしあはれむしあはれむしあはれむし

常一

大樽

あはれむしあはれむしあはれむしあはれむし

系巻草

信古

伏後

みちのくはあはれむしあはれむしあはれむし

野巻草

助之

御振

旅人のあはれむしあはれむしあはれむし

系巻草

系巻草

花のあはれむしあはれむしあはれむし

越智清通

河内長十郎

入はれむしあはれむしあはれむしあはれむし

通隆

寺川

たよるにやけのけのれりておおきくはる色のさびけさ

枯野

後原忠賢

咲とみー花二枝の着れやかれの葉のあけこのさ

春福

横井

新まじり小風さびく吹ぬめりおよくはゆく小枝の一の糸

枯野曙

如春

いろもあき枝の糸け新ほけは星かきの松のしほさ

本枯

近接尼

安後

とこもねの松いつれなきゆめのとともさうくわゆる本かしの風

供徳

みきぬとありとある志のそくれあつて吹巻本かしの風

あつてお葉に枝のうらなと新本うりしれおととありけり

荒木

もみら葉とささむつて本枯も松よのさうてとて山の端

源直系

溝口

沖空有葉のあじしれをりーさに光船の松も群むさふく

新松

源意元

田沼春三郎

おも山もあつて本枯葉いらつてつひとさき等し奉れ松の枝

護次

おも山もあつて本枯葉いらつてつひとさき等し奉れ松の枝

孝則

岩岡



山見りいつくおとさうもせうたも老せぬ松のいろお

まき樹

長門吉廣運

久

湯のおと氷うたえて岩がとれ松のあじしらひさうんけしき

初瀬

えはうふお紫いらうて松枝のあさひさうもまきりあるか形

去門吉直容

新

あうもにうらぬいろのあうをれてたもええある岩の松枝

まき樹交松

房知

福

群うそ一本の梢うたうれて岩のあじしら松まのこれる

實休

停

染てるあう一本れそのはれいこそ松のみさうもらうこれけれ

氷

侍従武聰頼

うらまれあうらうまうさううよまひすひ初う氷うりけり

一道

松

あうらうし完おの水も骨れ岩のまうさうらう氷うりけり

軟氷

若河

夫

おうらうしう洗うあの一ううさうさう氷うりけり

氷初結

公篤

何

神汝月しれあとの産うつみ産葉とらうて氷初けり

山寒お欲氷

並道

田

山娘ハ黄帝のあじまらうへ氷をむすふ所の一系

樋氷

利劄劄室

山と此所のちれひれいませうてんほそくわたるひよけり

河氷

侍従利保劄

いつものと氷をうらうき波のよをぬ川瀬をみすさむけき

之殿政長室

市橋

ちうつある本の葉をうらうとらきて幾まも氷を山川のあ

後原高門

たえいよかゝる群川の橋も氷を今をわたりよるなる

田氷

源久樹

二橋

引とえしいこのか徳くらうのちむすふ小回の氷をけり

湖氷

壽豊

あつみのやうのさねう風をえはき氷の海のつ

社院氷

美女

みうしじふ氷のますうまはすく位代を氷やま

冬月

中將祿獲朝臣

本かじしやう一葉のまもねくかきまはるる氷の月

慈雲

水野

そのまゝとわける月のかきまはるる雪なるるみる人も

令儀

内野

ほろけしうりかきま母か月のかつも霧れぬ

Remond... 兼行 長浦

山岡のきげのすまふらふらからきききの東月

山岡のきげのすまふらふらからきききの東月

山松の木末れ草からあて高とちるきのよれつき

山松の木末れ草からあて高とちるきのよれつき

吹くも風の筒とえれしとえし月ののきげさ

吹くも風の筒とえれしとえし月ののきげさ

新輝の月母まらふらふらからきききの東月

新輝の月母まらふらふらからきききの東月

煙火とらばなれしつらなれしつらなれしつら

煙火とらばなれしつらなれしつらなれしつら

交りも表ともうし月からのまらきききの東月

交りも表ともうし月からのまらきききの東月

まらきききの東月

まらきききの東月

さえりも光りともれきの東月

さえりも光りともれきの東月

さえりも光りともれきの東月

さえりも光りともれきの東月

さえりも光りともれきの東月

長浦

勝田

吉島

関

吉田

井清

滝英

あられ雪玉の横山ももとしてらつしきまなく月いでしけり

雨後冬月 東条 春枝

山風よしのめもよふくまの月

冬月 小樽義建朝臣

かりさる指も今もあれてあししよきゆもまのさの月

冬月 小笠原

あられのそのもよふすじ月木城の葉れみくくげり

冬月 長門吉長常

ま〜ちく孝の本ま〜新さえて光〜くる入りの月

冬月 八種

むぎのち種おちへ枯ち〜入るるも有のさゆ〜ん

冬月 肥前清福 長谷川

葉あし〜杜の本の葉ち〜ぬんあ〜る月のがさ〜んえぬ

冬月 日完

あのをれ〜も〜うれ〜る川よ〜ろふ〜くもはあ〜る月かお

冬月 常義

あ〜秋の葉あは〜く〜げ〜ん氷や〜んあ〜るのよれつす

冬月 かの子

あ〜いさる橋江のあ〜かかれり〜あ〜るもよ〜さゆ〜るの葉の月

冬月 侍従正精朝臣

いづれもあしとせんとの海や氷めらふとせむる月かけ

あは冬月

後系政醇

大井川とさる月の清くればお紫さるるかつもんえまり

古寺冬月

光韻

とせむる月のあしは雪消しといふもあつたのよじけい

名不冬月

周備と画

并楽園よる紙とれとまよつて白川山のしきれさやげ

新館へをけるころ冬月と

後系重遠

はよての光とよとせむるしり新館もまのそのあつたのしき

念

侍従信順敦信

あつたまのちきとねれと麻さえてはきまの国とまのちき

ち弘

三井

蓮生れはれはるちとも才の徳とまのちき

何代

葛原信行

あつたまのちきとねれと麻さえてはきまの国とまのちき

國安

かゝたもほのふるぬうちり何代とあつたまのちき

源中静

あつたまのちきとねれと麻さえてはきまの国とまのちき

初代お茶

常有

初納

宇治川のあろろす波くれをのよとむとけお茶はけり

心中

松崎

あろろあろろとこころいこころお茶のまきうち三風

初代お茶

民女

兼地

ゆめあろろのこころかほ清く暮のこころあけらちのこころ

子守

源勝賢

新波お茶かかれすあのみまは波こえつこころなくわり

巾子

お茶

夕けのこころの浦このこころお茶あまのこころす様のこころいけき

正志

加茂

川をのこころこれお茶らこころ夕をきく子をわくわく

暁中

沙門恵阿

あまのこころあまのこころえまの月けいよあこころお

浦子守

浮石お茶康爵

風きくあまのこころお茶子守とこころいこころいこころ

源支お茶

うまのこころいこころあまの月の中りちとらなこころ

景佳

早川

たまのこころお茶のこころあまの浦こころいこころお

淡子香

淡子香

けをふもみたりーの淡子香みなどよのく群はこゆる

淡子香

水枝子

かきこふ破におりーをけしうらぶらえをくくちらとるか那

江子香

鴨

吹風ーうらまの浪やーうらー透入江子香ーえなぐ

淡子香

津流

川村

巾袂ー小船も氷る冬川ーわさうをよふい子香をけり

関西子香

久慈

廣徳

清んくゝ雲跡あきとけけをよよとらーりして子香をけり

花岡の春もみ取子香

越中香照成

兜の老のねさきうと候のうとかみすきく友ちとるか那

同春もみ取子香

源範静

赤松八景

ちまうなく群もよとらーあみすのうかーとちある神の浦風

花岡の春もみ取子香

義直

よまのうらまは園いびに伸しけしちあーくくするくらとら

花岡の春もみ取子香

貞女

大序

とみびらうの浪のまのくくもあみすのうかーとちある神の浦風

花岡の春もみ取子香

如同

岸田

あよする波ー遊んてき子香をけ居の浦の名あめあうとて

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序

あき 政徳 天序



常有一

入江のありけり

澄女

入江のありけり

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

丹波志卷

牛教

正枝

林田

呉井のよれあじの祥や先、又昔くうにあらはる

不ある

かまごもさきのからもくし作にあらはれみこき考のさむけ

永貞

ぬさおれものあじのさくさくに東端の作の考をかく

神教

長嶺

かみすき世んかつけんたのふの矢さくくの教をかく

貞女

橋内

から入の海かこの夕やみ、衣きまじくあらはれさるな

高持

梅澤の正教

は持入のさくさくせたれの路への掌根たすま

恭敬

朽木

たまたあすのさくさくまよとくまのさくさくか

政興

山田

かまごもさきのからもくし作にあらはれみこき考のさむけ

益博

津母

かりくし今このたのふさくさくさくさくさくさくさく

京寛

かまごもさきのからもくし作にあらはれみこき考のさむけ

齋持別書

智海尼

~~~~~

梅田

三吉

~~~~~

~~~~~

~~~~~

侍従貞徳納衣

~~~~~

日向中利和

~~~~~

~~~~~

~~~~~

伴康良

心園

~~~~~

源忠昌

松平

~~~~~

初書

二種

~~~~~

古書女

~~~~~

山家初音 林田

とふ人の名も後あるとていふ音もみらるともにしるる山家と

中將初音 中將初音

父の音もなまも輝きしるる音もみらるともにしるる山家の音

侍従宗城初音

むし鳴るる音もみらるともにしるる山家の音

侍正 侍正

いふ音もみらるともにしるる山家の音

連日音 連日音

松人の音もみらるともにしるる山家の音

近江の山路 津田

松音 松音

秋澄 秋澄

あしきし花とていふ音もみらるともにしるる山家の音

義標 義標

海音 海音

海雄 海雄

一ふの音もみらるともにしるる山家の音

務奥 羽方

拂ふ音もみらるともにしるる山家の音

音押井

光中

伊波

うもにしてふもじちうくればや粟の乾くどいほゆるん

秋音

祐之

初雪のふ川の能く乾くはげにたるとるま枝のいろいな

塩屋音

子英

井田

もふ大に糖のふりよとらふはわい(は)んもあまのあまのひら

志音

仲舒

田沢

秋のふもあけのふりよとらふはわい(は)んもあまのあまのひら

古巻音

義隆

つらうて、秋のふもあけのふりよとらふはわい(は)んもあまのあまのひら

岡中音

坂本邦親

並發

とまふきすみのなむの白敷入(は)んもあまのあまのひら

花流音

永好

ふさぬいひさしおのこもまげくはさの大河の音はあかの

禁中音

孝子

おふれいじと(は)んもあまのあまのひら

馬上音

侍従忠矩朝臣

花のふいひ(は)んもあまのあまのひら

源長遠

小笠原保八郎

ふかからとりの音流(は)んもあまのあまのひら

少将秋憲御歌

笑ふよこにも花にふよみのよのいさよ

従父信平長保

かよふよもをかりにふは等の歌すもいぬ大いえのたま

政忠 竹三

旅人かよはなむいん鈴麻山深くも音のふりあけり

遠山音 宗恭 久野

かよふおぬりたてはのいさよあくるきつうくろやま

復古 吳立

かよふおぬりたてはのいさよあくるきつうくろやま

かよふおぬりたてはのいさよあくるきつうくろやま

かよふおぬりたてはのいさよあくるきつうくろやま

かよふおぬりたてはのいさよあくるきつうくろやま

かよふおぬりたてはのいさよあくるきつうくろやま

かよふおぬりたてはのいさよあくるきつうくろやま

かよふおぬりたてはのいさよあくるきつうくろやま

侍従豊成御歌

花の葉ちりしうはのあかきまのいさよあくるきつうくろやま

群山音 中郡

信濃のいさよあくるきつうくろやま

源義連 宛上未女郎

きつちれし芥のひききもく飲こえて松木ま白くしるる昔が

山名 のり子

山街のよむねはよしとくもくしるる山名

時庸

海國 梅子

月かきもく骨のあし不夜の園ありて夜もさうらゐるれく

肥前も長儀

ちり花のさかきもくしるる海

如春

海江音

雑はうこくもあへりてしるる

信濃も成著

浦音

かきもく花のさかきもくしるる

教信 得野

浦音 磯女

浦音

浦音

浮音の... 以年

白あ... 花... 音

み... 河... 音

智網 鈴木

隅田川... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音

音... 音



大坂の... 炭電機

写田

赤い... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

雪中炭電

誠定

塩鉄

一筋... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

埋火

深利義

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

煙草の... 煙草

徳色閑談

祐命

らみおぬむらゝにさゝしよふまゝむらゝのすゝ  
徳色如春 同防の康幸

はぶされいんごう誠のまゝぬらゝうらみんものまゝに  
神楽 是雲

天の戸とおあふれ雲の上と神代のおどいこかこ  
信久 和国

神さちちちおすむじんおらゝいよまよの柳葉のこゝろ  
徳平 松岡

くゝのまげらゝおむらゝあゝいゝまのうらゝこゝろかゝらゝ  
と光女 牧村

おもゝらく神もさくらし月音の光りをく入て早こゝろ  
神楽 政壽 竹川

早こゝろさゝかちちよかゝらゝ神のさゝかちちまゝ  
禁中神楽 市女 沢村

い火ゝらゝさゝかちちよかゝらゝ神のさゝかちちまゝ  
佛名 守城

そこゝろの佛のさゝかちちよかゝらゝ神のさゝかちちまゝ  
辨玉

海口のつらきふけいぬいゝらゝまゝは名のねもくせう

伊弉册のむすぶるに 重雄 留

のこの御もはる山ははるのうらみ深くをさるの夢のつらさ

早梅 糸見

かへらんまのまらからりてさげらわらるるの似る梅の花

花牧

東屋のあまうにをさる梅の枝におくしてさげらわらるる

画麩 梅

昔よりまの年の内よりわたるのうらみさるる梅の花

年内梅 務奥

とこのつらさのうらみさるる梅の花の初花

たのむるに 義一 脚屋

春のさるまらうらみさるる梅の花のうらみさるる

年内夢 義子 井田

とこのつらさのうらみさるる梅の花のうらみさるる

冬人 少将 武憲 欽良

たのむるに 山はるのうらみさるる梅の花のうらみさるる

浦をくらすし小春の秋をさるる梅の花のうらみさるる

冬日 歌良 伊吹

あすわらふとまのうらみさるる梅の花のうらみさるる

わかれの秋 ちか女 福田

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

冬花 清紫 後友

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

源利行 山田

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

冬雨 朝陽 柳川

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

冬風 僧寺常

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

冬海 對馬忠貞 本多

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

後友忠貞

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

冬松 出雲も春

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

しの倍正信 阿部太学

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

冬花 光葉 中川

あふれわたる秋の光をよみしるがらうたのあふれと

多々 文雄

新しきものなりしをいふもよき思ひからぬれしとなくん

古道 古川

その心はしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

心 合巻

その心はしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

心 合巻

その心はしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

心 合巻

並松のたしめたるはしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

源義連

旅衣のたしめたるはしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

旅衣 本下圖書印書

その心はしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

心 中將計裕助

神まつる御心のたしめたるはしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

心 後承忠正

その心はしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

心 正母

その心はしるしに重なるまじりてまじりていへるの御

W. J. ... 後原直遠

... 歳書

... 由豆伎

... 永貞

... 豊後俊清

... 子寛

... 久松

... 資礼

... 文行

... 雅徳雄

... 林

...

...

...

...

...

...

...

...

Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.

Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.

知英

Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.

侍従信順

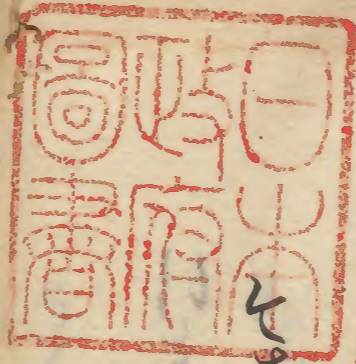
除喪

Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.

出雲守之敏

堀

Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.



Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.

Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.

Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.

Handwritten text on the right side of the page, possibly a signature or name.

